

「希少(きしょう)がん」とは、『人口10万人あたり6例未満の「まれ」な「がん」、数が少ないがゆえに診療・受療上の課題が他に比べて大きいがん種』の総称です。200種類近い悪性腫瘍が希少がんに分類されます。

(国立がん研究センター 希少がんセンターHPより)

当院では、希少がんの中で以下のものに着目し集計をおこないました。

- ・ NEN(NETやNEC)
- ・ GIST
- ・ 乳房外パジェット病
- ・ 悪性黒色腫
- ・ 中皮腫(胸膜、腹膜)
- ・ 胚細胞腫瘍
- ・ セミノーマ
- ・ 肉腫
- ・ 腹膜癌
- ・ 皮膚がん
- ・ 小腸がん
- ・ 原発不明癌

●公表の対象について

各集計表において、集計値が4以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、値を伏せて“1-4”表示にしています。0の場合は、“0”と表示しています。

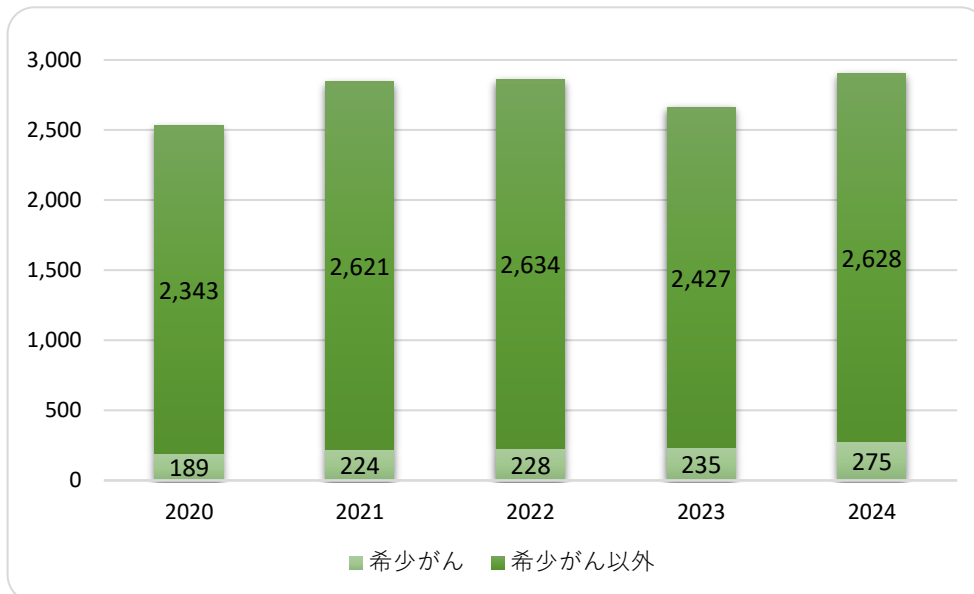
がん登録件数

	2020	2021	2022	2023	2024
件数	2,532	2,845	2,862	2,662	2,903

希少がん件数

	2020	2021	2022	2023	2024
件数	189	224	228	235	275

全体からみると
希少がんの割合は、 7.5% 7.9% 8.0% 8.8% 9.5%



希少がん

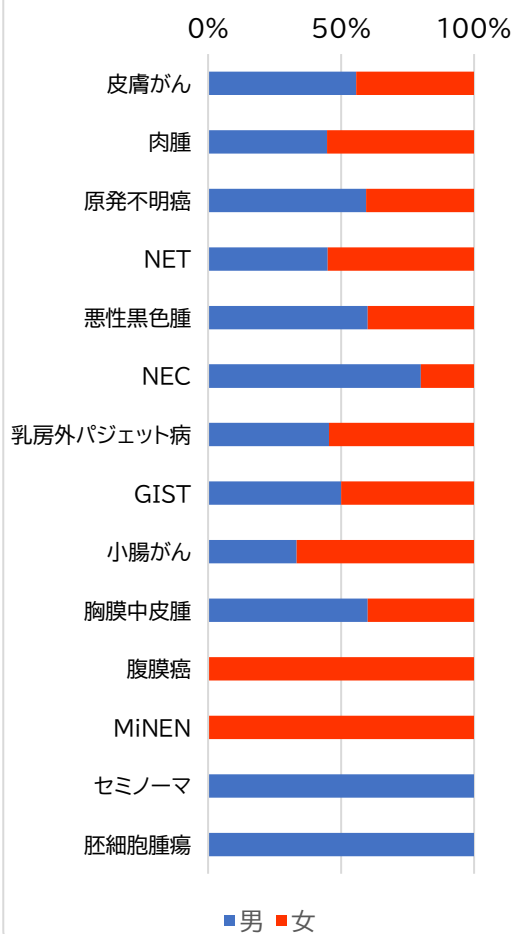
2024年症例

自施設における初回治療状況別

	診断のみ	初回治療開始	初回治療後	※その他	計
皮膚がん	0	71	6	1-4	79
肉腫	1-4	43	19	1-4	67
原発不明癌	0	31	1-4	1-4	37
NET	0	15	1-4	1-4	20
悪性黒色腫	0	17	1-4	1-4	20
NEC	0	14	0	1-4	15
乳房外パジェット病	0	11	0	0	11
GIST	0	9	1-4	0	10
小腸がん	1-4	1-4	0	1-4	6
胸膜中皮腫	0	5	0	0	5
腹膜癌	0	1-4	0	0	1-4
MiNEN	0	0	1-4	0	1-4
セミノーマ	0	0	1-4	0	1-4
胚細胞腫瘍	0	0	1-4	0	1-4
	1-4	222	37	14	275

※その他 … ・他施設診断で当院へ治療目的に紹介されたが、治療は行わずに他施設へ紹介になったもの。
 ・治療の相談で1度きりの受診のもの。

男女比



年齢階級別

